



平成19年3月26日

各 位

会 社 名 株式会社モスフードサービス
代表者名 取締役社長 櫻田 厚
(コード番号 8153 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 石川芳治
(TEL. 03-3266-7171)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月13日の中間決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の連結および個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	62,000	2,900	1,100
今 回 修 正 予 想 (B)	59,000	1,900	200
増 減 額 (B-A)	△ 3,000	△ 1,000	△ 900
増 減 率 (%)	△ 4.8	△ 34.5	△ 81.8
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	58,216	3,194	1,092

2. 当期の個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	50,000	3,200	1,200
今 回 修 正 予 想 (B)	47,000	2,500	200
増 減 額 (B-A)	△ 3,000	△ 700	△ 1,000
増 減 率 (%)	△ 6.0	△ 21.9	△ 83.3
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	51,657	3,687	1,806

3. 修正の理由と今後の対策

売上高および経常利益につきましては、モスバーガー事業において、競争激化により既存店売上高の回復が計画通りに進まなかったこと、新規出店が遅れたこと、当期純利益につきましては、子会社のうちモスバーガーFC子会社の業績改善が遅れていることから、投資損失引当金（通期で約9億円）を積み増すことによる特別損失が増える見込みであることなどを勘案し、通期の業績予想を修正いたしました。

現在、この業績低迷からの早期脱却を目指すため、改めて「顧客視点」で市場を見つめなおし、商品開発の革新、モスバーガー事業における緑モスを中心としたマルチ業態開発、マーケティングの革新等を進め、速やかな経営改革に取り組んでおります。

また3月16日付で、既存店の売上回復のため、スーパーバイザー（SV）を54名から一挙に92名に増やしてFC運営体制を強化し、モスバーガー事業のてこ入れを行なうことといたしました。

4. 配当の状況等

期末の利益配当金につきましては、当初の予定通り1株につき13円は変更せず、年間の配当金は中間配当金と合わせて1株につき26円のままとさせていただきます。

また、今回の業績下方修正を受け、全執行役員の役員報酬を4月から半年間に渡り、取締役社長の10%を筆頭に各職責に応じ減額することといたしました。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上